

夢が丘

北小だより「夢が丘」
2021(令和3)年10月21日
NO.4
上田市立丸子北小学校長
滝澤 博子

丸北体育フェスティバル 大成功！10月14日(木)

晴天の下、「丸北体育フェス」が行われました。どの子どもたちも精一杯力を発揮し、応援し、心を一つにした行事となりました。保護者の皆様には、たくさんのサポートをしていただきました。心より感謝申し上げます。

この「丸北体育フェス」は、中止になった運動会に代わる行事として、「レベル5でも全校でできる会を創り上げよう」という思いが込められた特別な行事でした。どのような会にすればよいか思案している時期に、6年生が「自分たちにまかせてください」「みんなが楽しめる会を考えます」と計画・運営を進めてくれました。また、例年4～6年生が担当している係活動ですが、複数の学年が交ざって係会を開かなくても準備ができるようにと、6年生が全ての係活動を引き受けてくれました。6年生が自分の種目に出ている時には、5年生がカバーしてくれることになりました。



各学年では、子どもたちの願いやめあてを大切にし、感染レベルが高い時にはクラス間が交わらないように感染防止に留意しながら練習を行いました。また、レベルが下がったところで、2週間の特別時間割を再編成しました。複数の学年で構成するリレー、応援団、金管部も、ぜひ活躍してほしいとの願いがあり、復活しました。大きな声で応援できないため、ペットボトルのグッズを準備するアイデアが生まれました。新しい応援バージョンもできました。子どもたちの中に「自分たちの行事を創る」意識が大きく育ちました。

「10月2日に運動会ができない」という大きなピンチを迎えた丸子北小でしたが、逆境に負けず、できることを見つけ出し、工夫して創り上げることを、全校でやり遂げることができました。みんなで力を合わせてがんばってきたことを、本当にうれしく思います。ご家庭でも、子どもたちの話をたくさん聞いていただき、認め励ましていただいたことと思います。ありがとうございました。



ここで、子どもたちの気づきが伝わってくる日記や一言があるので、紹介します。

今日は、体育フェスを全校で行いました。全校一人一人が全力で楽しめた最高のフェスになりました。改めて思ったことは、『〇〇組に勝つ』ではなく『楽しむ』の方が、勝ち負けよりずっと大事なことに気がつきました。

☆この「楽しむ」ですが、「質」が高い「楽しさ」であることに気付かされます。考えさせられます。

次は、つぶやきです。

終わったな……。疲れたけど、終わっちゃうのはなんかさみしいな。ずっとやっていたい。ずっとこの学校にいたい。

☆尊い気持ちが伝わってきます。体験を通して得た気付きや思いを、これからも大切にしていってほしいです。



子どもたちは、明るく前向きに行動することの素晴らしさ、みんなで力を合わせる尊さ、^{ちえ}智慧を働かせることの大切さ、そして他にもたくさん大切な何かを感じとってくれています。この行事を通して、行動したこと・感じたこと・考えたことなどを「成長の種」とし、これからの生活にもぜひ活かしてほしいです。

保護者の皆様には、12日(火)の保護者公開に多数お越しいただき、ありがとうございました。また、丸北体育フェスの実施に際して、実施日の変更、駐車場の出入りや受付の対応など、多岐にわたってご理解ご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。

今月29日(金)には、音楽会があります。子どもたちと職員一同、心を込めて演奏したいとがんばっています。ぜひお越しください。また、コロナ感染レベルが1に下がったので、前日28日(木)の校内発表会は、全校児童が一堂に会して演奏を聴き合うことができそうです。

今後とも、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。